

2018年度 早稲田大学 文学部 学士入学試験問題

美術史コース

専門科目 小論文および資料解読 (英文または漢文)

【問題】

問1 小論文

造形美術における様式について、具体的な作品を挙げて論じなさい。なお、とりあげる作品については、作品名、制作年代、作者、制作地ないし所蔵先を記すこと (年代や作者が不詳とされている場合はその旨を記すこと)。

解答は別紙 (横書) を用いよ。

問2 以下の英文もしくは漢文のうち、いずれか1つを選んで答えなさい。

解答は、英文は横書、漢文は縦書の解答用紙を用いよ。

問2 資料解説 (英文)

以下の文章を日本語に訳しなさい。

This magnificent costume study is also an affecting portrait of Nicolas Trigault, a Flemish Jesuit missionary to China. Rubens, who had close ties to the Jesuit college of Antwerp, made the drawing when Trigault visited the city to raise funds and recruit new missionaries. The costume combines a Korean cap and the robe of a Chinese scholar, conveying the Jesuits' desire to assimilate into Chinese culture while at the same time acknowledging and keeping a certain distance from it. Rubens beautifully captured the cut, texture, and weight of the robe but also elaborated on its colors in the Latin inscription.



*Nicolas Trigault: ニコラ・トリゴー、フランドル出身のイエズス会士

※Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。
Image copyright©The Metropolitan Museum of Art. Image source:
Art Resource, NY

問2 資料解読（漢文）

次の漢文を現代日本語に訳しなさい。

水西有永寧寺、熙平中始創也。作九層浮圖、浮圖下基方十四丈。自金露盤下至地四十九丈。取法代都七級而又高広之。雖二京之盛五都之富、利刹靈圖未有若斯之構。按釈法顕行伝、西国有爵離浮圖、其高與之相状。東都西域俱為莊妙矣。其地是曹爽故宅、經始之日於寺院西南隅得爽窟室。下入土可丈許、地壁悉纒方石砌之。石作細密、都無所毀、其石悉入法用。

『水経注』より

受験番号					
氏名					

採点欄

2018年度 学士入試
文学部 美術史コース

問1 小論文

受験番号					
氏名					

採点欄

2018 年度 学士入試
文学部 美術史コース

問2 英文

受験番号					
氏名					

二〇一八年度 学士入試

文学部 美術史コース

問2 漢文

採点欄